

共に考え・共に歩む 自治都市猪名川

< 参画と協働に関する懇話会の提言 >

平成17年3月24日

猪名川町参画と協働に関する懇話会

はじめに

猪名川町参画と協働に関する懇話会は、平成15年4月に設置されました。以降2カ年にわたり町民活動の意義や支援のあり方、行政との関係等について研究と討論を重ねてまいりました。

急激な少子・高齢化の進展、日本経済の低迷、国や自治体財政の行き詰まり、男女の社会的役割の変化、ごみ問題や環境問題、また大規模災害への対応など、地方自治体は多くの厳しい課題に直面しております。

このような状況の中で、町民が猪名川町に愛着をもって生きていくためには行政がまちづくりを進めるうえにおいて、町民と一緒に*1 パートナーシップの構築が不可欠な要素となっています。このことは、日常生活の基盤である地域づくりにおいて、そこに住む人びとが自ら知恵を出し、役割分担を大切にして、ともに汗を流し、いきいきとした地域を自分達の手で創造し、そして行政とともに推進することです。

猪名川町の自然環境、住む人の心のやさしさ、地域のまとまりなど、みんながどこにも負けない「猪名川町大好き！」といえる町にするためにも、町民と行政との連携と役割分担を明確にし21世紀を切り開いていくことが大切であると考えます。

ここでいう理想とする町民とは、定住性が高く、そして愛着心があり、なおかつ行政経営・政治機会への参加意欲の高い町民をイメージしています。

幸い猪名川町には、こころ和ませる素晴らしい自然があります。そしてこの豊かな自然環境の中で、人びとは互いに思いやり助け合うやさしさを持ち、ずっと住み続けたいという気持ちをもっています。

このたびの提言を契機に、一人でも多くの町民が手を携えて*2 ボランティア活動や町民活動活性化への新たな一歩を踏み出すことを期待します。一人ひとりの町民の努力から、次の世代へより住み良い活力にあふれた、魅力ある猪名川町へと引き継いでいくための気運も高まっていくものと確信します。

町長におかれては、本提言で示しました諸方策の実行に向け尽力を願うとともに、行政職員の町民活動に対する理解を促進し、町民と行政の真の「参画と協働」によるまちづくりが推進されるよう、心より念願する次第です。

平成17年3月24日

猪名川町参画と協働に関する懇話会

委員一同

目 次

はじめに

第1章 町民活動に対する基本認識について	1
1 町民活動の意味	1
2 社会的背景	1
(1) 地方分権の流れ	2
(2) 行政と町民の役割	2
(3) 参画と協働の意義	2
(4) 災害時の対応	3
(5) 団体の活動状況	3
3 町民意識と現状	3
(1) 町民意識調査から	3
(2) 人口の推移	4
(3) 猪名川町の財政状況	5
第2章 町民活動促進への考え方について	5
1 猪名川町の住民参加への取り組み	5
2 コミュニティ施策について	6
3 住民と行政との協働について	6
(1) 行政との連携	6
(2) 住民自治のシステムづくり	7
第3章 よりよいまちづくりへの提言について	8
1 安全・安心	8
2 共感と共生	8
3 参画と協働	9
4 環境への配慮	10
5 ふるさとづくり	10
6 自治基本条例への展開	11
<資料> 猪名川町まちづくりに関する意識調査	12
猪名川町年齢別人口表(平成17年1月末現在)	17
用語集	18
参画と協働に関する懇話会設置要綱	21
参画と協働に関する懇話会委員	23
参画と協働に関する懇話会の活動経緯	24

文章中の用語に*マークがついているものは、資料の用語集に掲載してあります。